

染谷悠子 土や星や

2026年7月31日 [金] - 9月12日 [土]

July 31(Fri.) - September 12(Sat.), 2026

Yuko Someya *Soil and Stars*

TOMIO KOYAMA GALLERY KYOBASHI

染谷悠子

Yuko Someya



photo by Kenji Takahashi

1980 年千葉県生まれ。2004 年東京造形大学美術学科絵画専攻卒業、2006 年東京藝術大学大学院版画専攻修了。現在は岡山を拠点に活動しています。

染谷悠子はパネルにキャンバス、そして和紙を張り、そのやわらかな風合いを生かしながら、繊細な筆致と色彩で、花や鳥、樹木、動物がモチーフの架空の世界を描きます。染谷は「言葉を綴るように、鉛筆を動かしていく」と語り、まず鉛筆の淡い輪郭線が画面を作り始めます。細密画のように綿密な描写にも関わらず、絵全体の印象が非常に軽やかなのは、存分にとられた余白とのバランスと、リトインクを使った独特の手法—水彩絵具だけが塗り重ねられるのではなく、版画用のインクも用いて瞬時に彩色していく—による色彩が、透明感に溢れているからでしょう。それらのモチーフは画面の十分な余白により浮遊感を与えられ、それらが紡ぐ物語、そしてその続きへと、鑑賞者を誘うかのように強い輝きを放っています。また版画の手法で色をつけられ、画面に重ねられた和紙が生み出す独特な色彩と質感も魅力です。

主な個展に「野花の中にあなたを見る」（小山登美夫ギャラリー天王洲、東京、2024 年）、「Yuko Someya」（Richard Heller Gallery、サンタモニカ、2014 年）、主なグループ展に「森の芸術祭 晴れの国・岡山」（作州民芸館、岡山、2024）、「Flower of Life 生命の花」（ヴァンジ彫刻庭園美術館、静岡、2022 年）があります。

2004 年町田市立国際版画美術館、全国大学版画展、收藏賞／観客賞、2014 年「VOCA 展 2014 現代美術の展望 —新しい平面の作家たち—」佳作賞受賞。作品は、彩瀬まる『みちゆくひと』（講談社、2025 年）や、木内昇『きみがなきあと』（講談社、2026 年）の装画に使用されました。

土や星や

近年、染谷悠子は制作拠点を岡山に移しました。「日置谷（ひおきだに）」と呼ばれるその土地には、「山あいにお日様を置く」という意味があるといえます。その山や谷、そして地表を覆う土の中で生活し、制作した作品を、今回、展示いたします。

これまで染谷は、身近な風景を、自身の幼少期の思い出、生活の変化から感じ取った死や生、出産、自然など生命の根本とからめて捉え、独自で新たな表現をしてきました。様々な動植物が混在する幻想的な染谷の作品は、現代の花鳥画ともいえるいきいきしたものでしたが、本展で発表される新作は、そうしたこれまでの表現を踏まえながらも、作家自身の想像をはるかに超えた自然との関わりのなかから生まれたものになっています。

「畑をはじめてから、空をたくさん気にしたり、土の中や土の外のあらゆる生き物達との距離がグッと縮まり、同時にグググッと離される様な気持ちにもなります。これは、星夜を見る時、宇宙を覗く時と似ているなぁと感じるようになりました。すぐそこにあって見えているのに知りたいものは何も見えない。どこに点を置けばいいのかも、いまはまだ全然わからない、いつも迷子です。土の中にも宇宙的多次元が展開されている、そんな風に思いはじめました。」

そんな土と共に生きて、染谷は

「土での出来事は、星が私達の目に到達している事と通ずる何かがあるんじゃないかなあ」

と想像し始めたと言います。



※染谷悠子のアトリエ風景

[詳細はこちら](#)

TOMIO
KOYAMA
GALLERY



染谷悠子 Yuko Someya

美星町 *Bisei-cho*

2026

Chinese ink, watercolor on paper

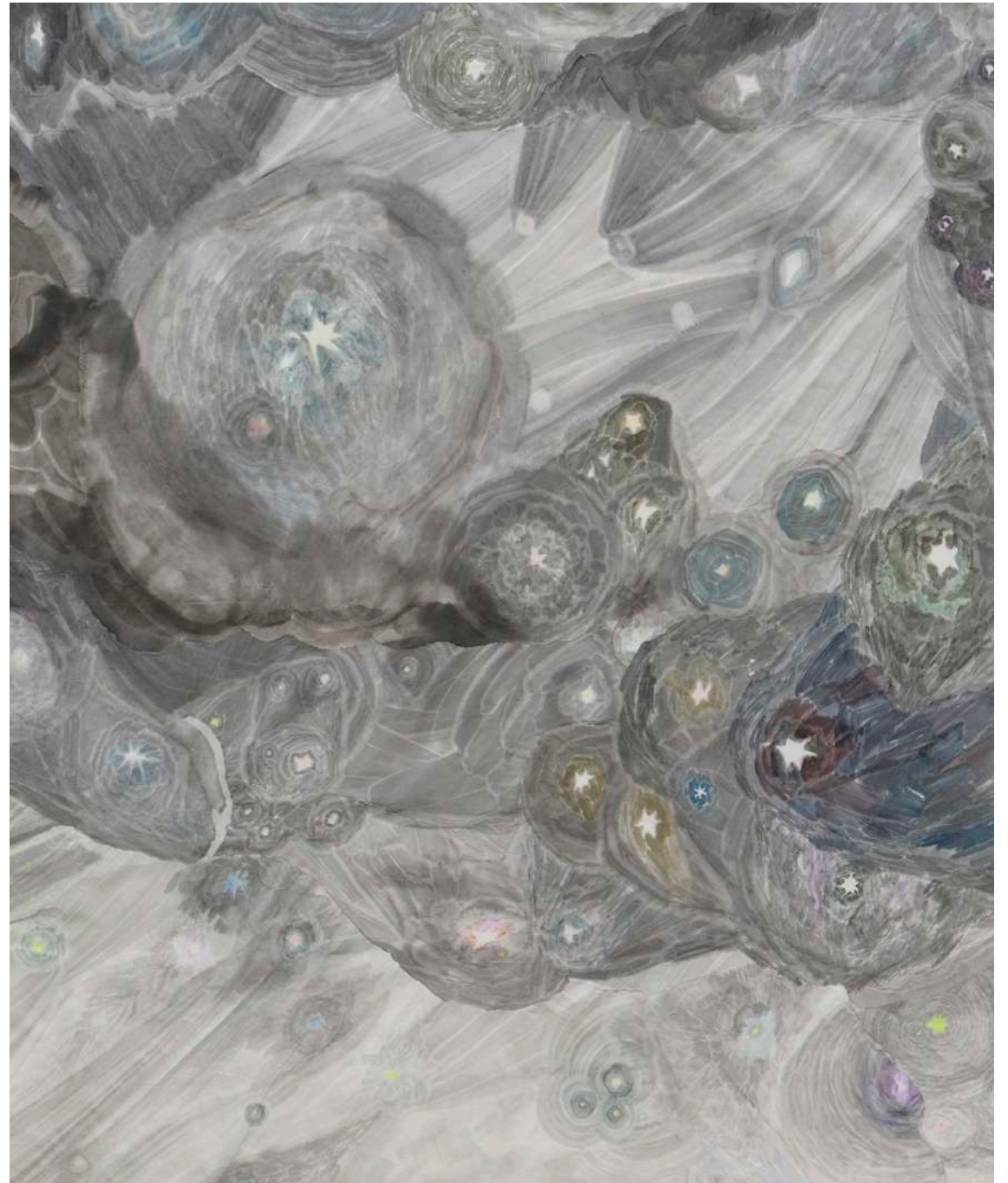
230.0 x 420.0 cm

YuS-Pa-26-02



「夜の闇を大切にしている美星町で
星空やその奥にある宇宙を覗いていると
人そのものから解放されて、ただ無心の
美が出てくるように思う。
その時、すごくこわいなとも思う。」

一染谷悠子



『美星町』 2026 年 / 230.0 x 420.0 cm / Chinese ink, watercolor on paper



染谷悠子 Yuko Someya

楽園 *Circulating Soil*

2026

Chinese ink, watercolor on paper

202.0 x 400.0 cm

YuS-Pa-26-01

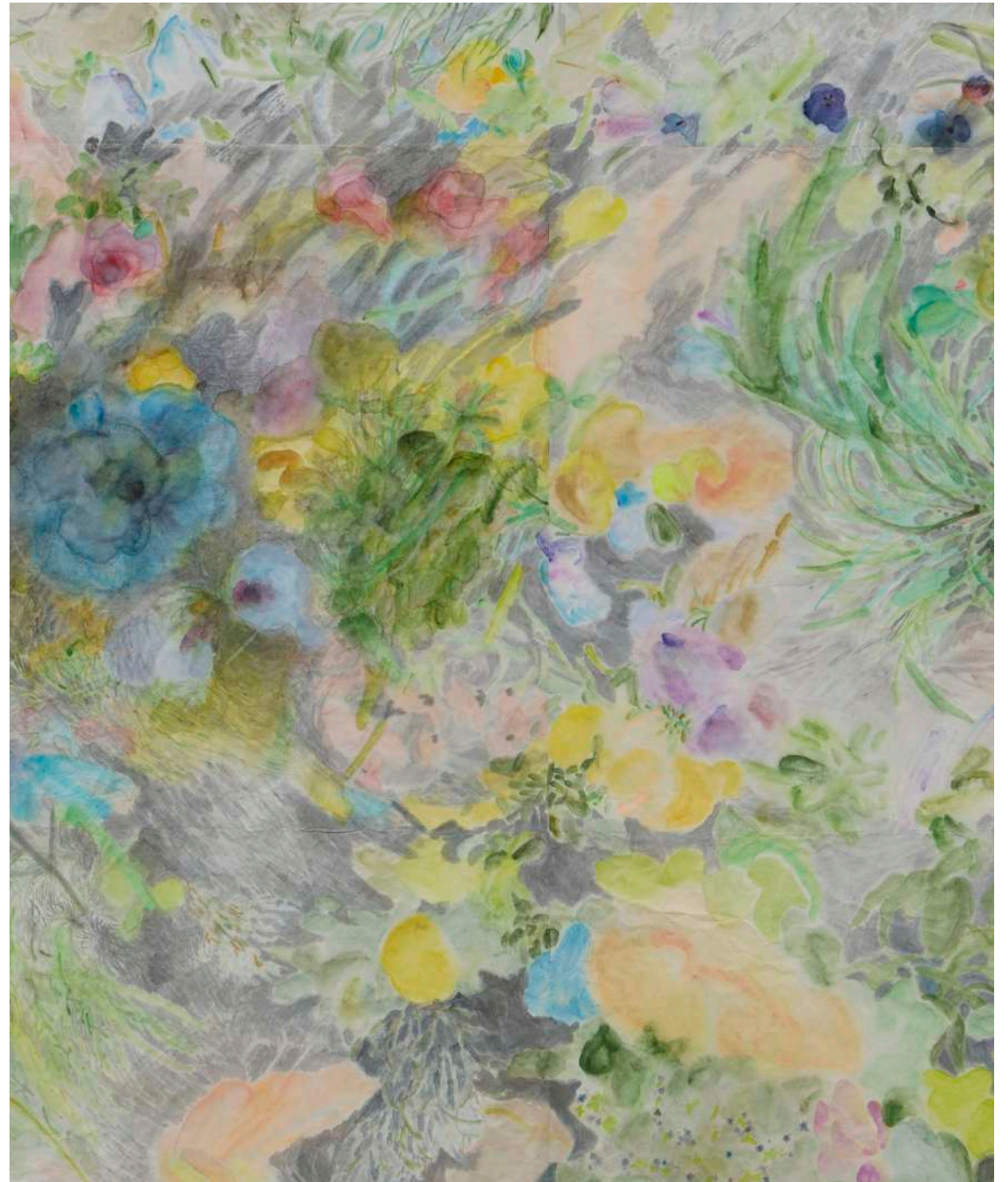


「草むらで四つ足が死んでいた。
四つ足の身体を覆う様に無数のウジがわ
きうごめくすぐそばで、新しい緑が溢れ
吹き出している様子や、
次の土のために、まだ瑞々しい草花が刈
られ投げられていたまわりを、蝶々達が
音もなく浮かぶ。
その場所は、とても美しかったのに、
強烈な屍臭によりすぐに立ち去るしかな
かった。」

一染谷悠子



こちらのボタンをクリックすると、作品『楽園』の
実物をご覧いただける動画をご視聴いただけます。



『楽園』 2026 年 / 202.0 x 400.0 cm / Chinese ink, water color on paper



染谷悠子 Yuko Someya

トメヨさんの庭 *Tomeyo's Garden*

2025

Chinese ink, watercolor on Japanese paper

87.0 x 135.0 cm

YuS-Pa-25-01





染谷悠子 Yuko Someya

トメヨさんの庭 *Tomeyo's Garden*

2025

Chinese ink, watercolor on Japanese paper

71.0 x 142.0 cm

YuS-Pa-25-02





染谷悠子 Yuko Someya

トメヨさんの庭 *Tomeyo's Garden*

2025

Chinese ink, watercolor on Japanese paper

69.5 x 135.5 cm

YuS-Pa-25-03



TOMIO
KOYAMA
GALLERY



染谷悠子 Yuko Someya

白雨 *Evening Shower*

2026

oil, lithograph ink, Japanese paper on canvas mounted on panel

90.2 x 90.2 cm

YuS-Pa-26-10





染谷悠子 Yuko Someya

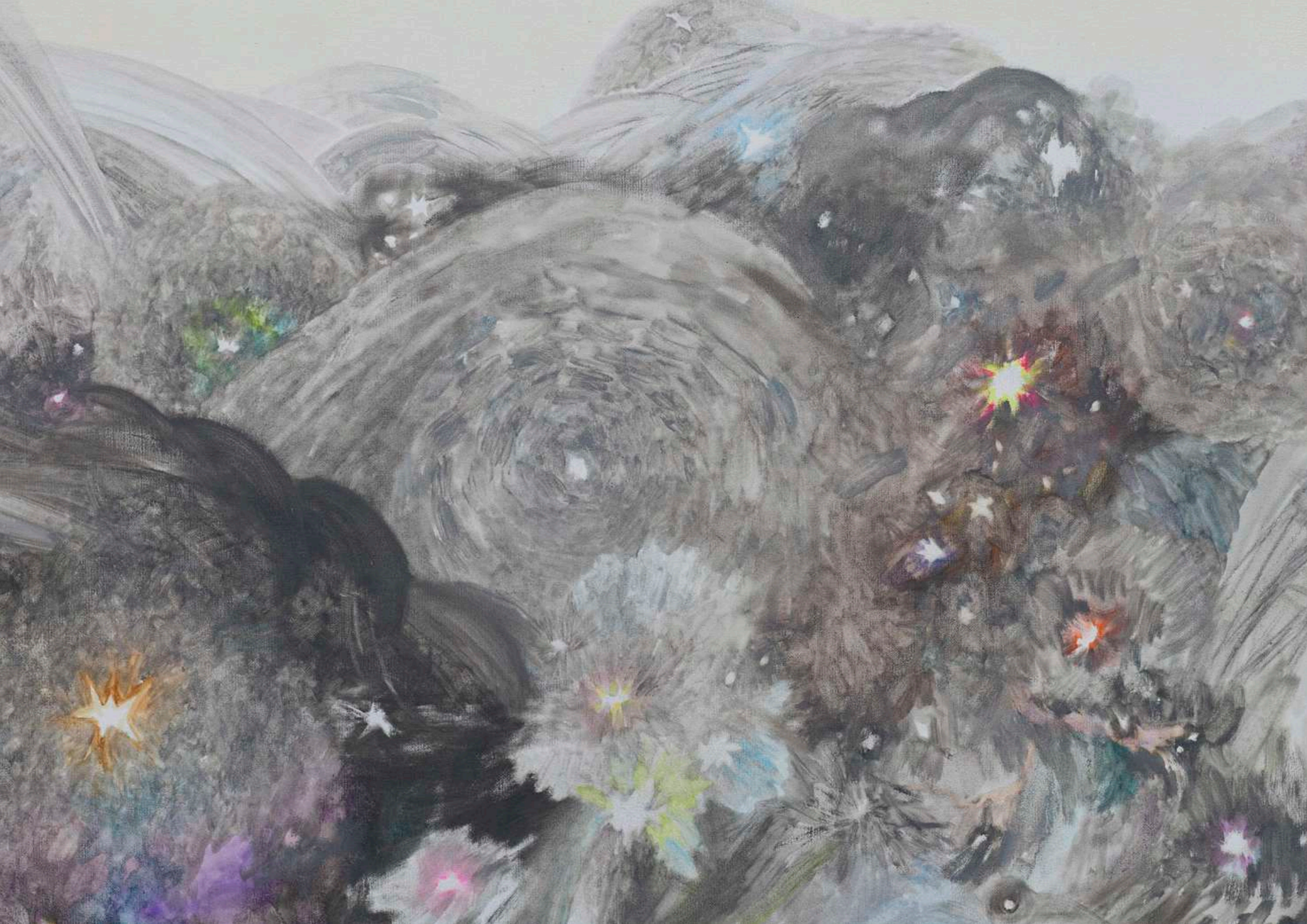
星山 *Hoshi-yama*

2026

oil on canvas

72.5 x 100.0 cm

YuS-Pa-26-03



「みんな、なんで山を描くんだろう？」美術館に行くと必ずどこかには山の絵があるのです。山の見えない場所で生きてきた私は、この春からなだらかな山あい暮らし始めました。すると山を描き始めたのです。

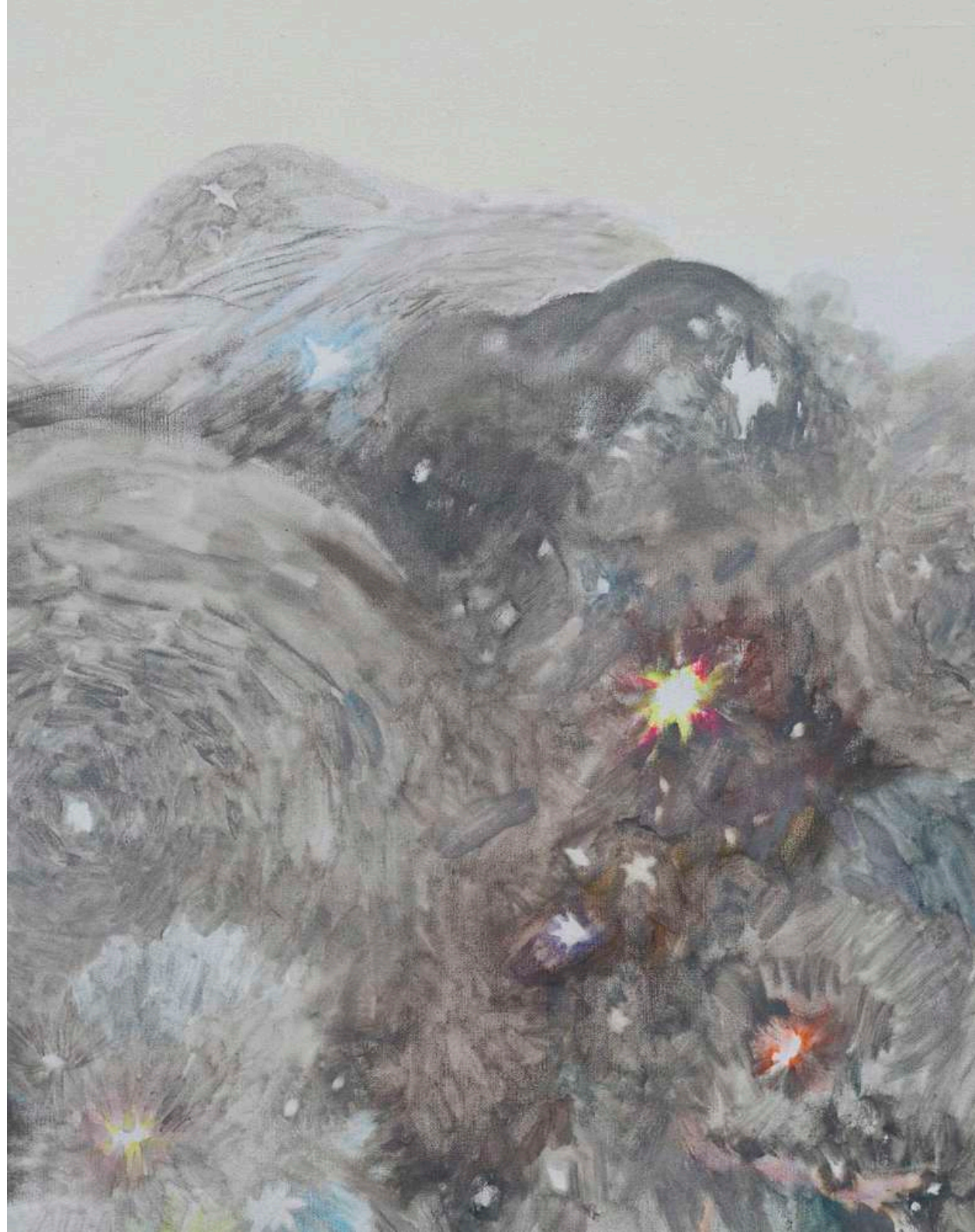
例えば墨のにじみを使って、山や波や花びらなど連続するものを描くとき、そこには幽かで柔らかな空間が現れます。

「この4月から岡山県の、周りが山に囲まれているところに移住したんですけども、数年前からちょこちょこその移住先のところに2、3週間まとめて滞在するようになってから、パッと見ると、常に山が目に入ってきて。常に山がそばにあるという状態が初めてだったので。

本当に毎日変わるし、水蒸気が立ち込めているような日もあれば、雨の後はすごい生命のにおいが降りてくるといとか、風に乗っていいにおいの時もあれば、少し生臭いような時もあるって、五感をすべて刺激されるというか、まあ一番は視覚ですけど。」

— 染谷悠子

ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション グループ展「新しい南画の世界」(2025年) 記録集および関連トークイベント(2025年7月13日)より引用





染谷悠子 Yuko Someya

いっておかえり *Take Care, See You Later*

2026

oil on canvas mounted on panel

70.0 x 85.0 cm

YuS-Pa-26-04





染谷悠子 Yuko Someya

トメヨさんの庭 *Tomeyo's Garden*

2025

Chinese ink, watercolor on Japanese paper

62.5 x 70.0 cm

YuS-Pa-25-04



TOMIO
KOYAMA
GALLERY



染谷悠子 Yuko Someya

星山水 *Star Landscape*

2026

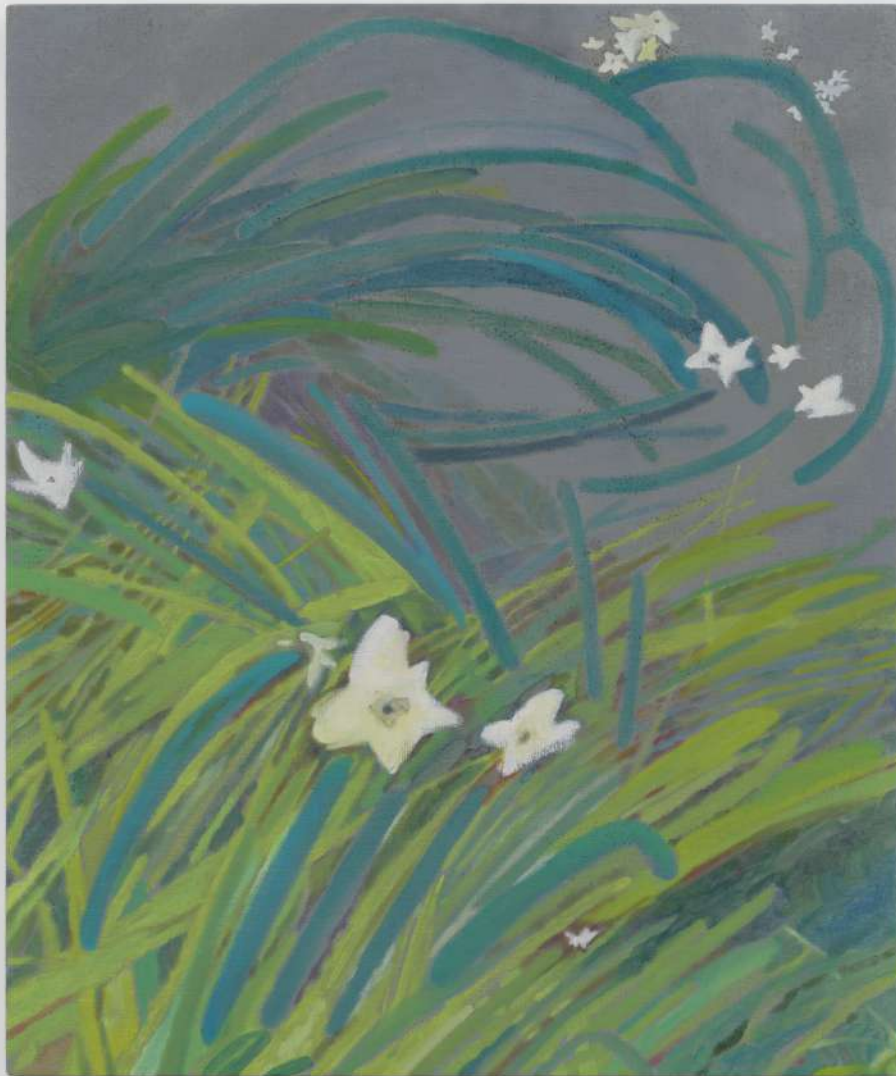
oil on canvas mounted on panel

67.0 x 56.2 cm

YuS-Pa-26-12



TOMIO
KOYAMA
GALLERY



染谷悠子 Yuko Someya

風をながれる風 *Wind Flowing Through the Wind*

2026

oil on canvas mounted on panel

66.8 x 56.0 cm

YuS-Pa-26-11



TOMIO
KOYAMA
GALLERY



染谷悠子 Yuko Someya

少女のような人 ***Someone Like a Girl***

2026

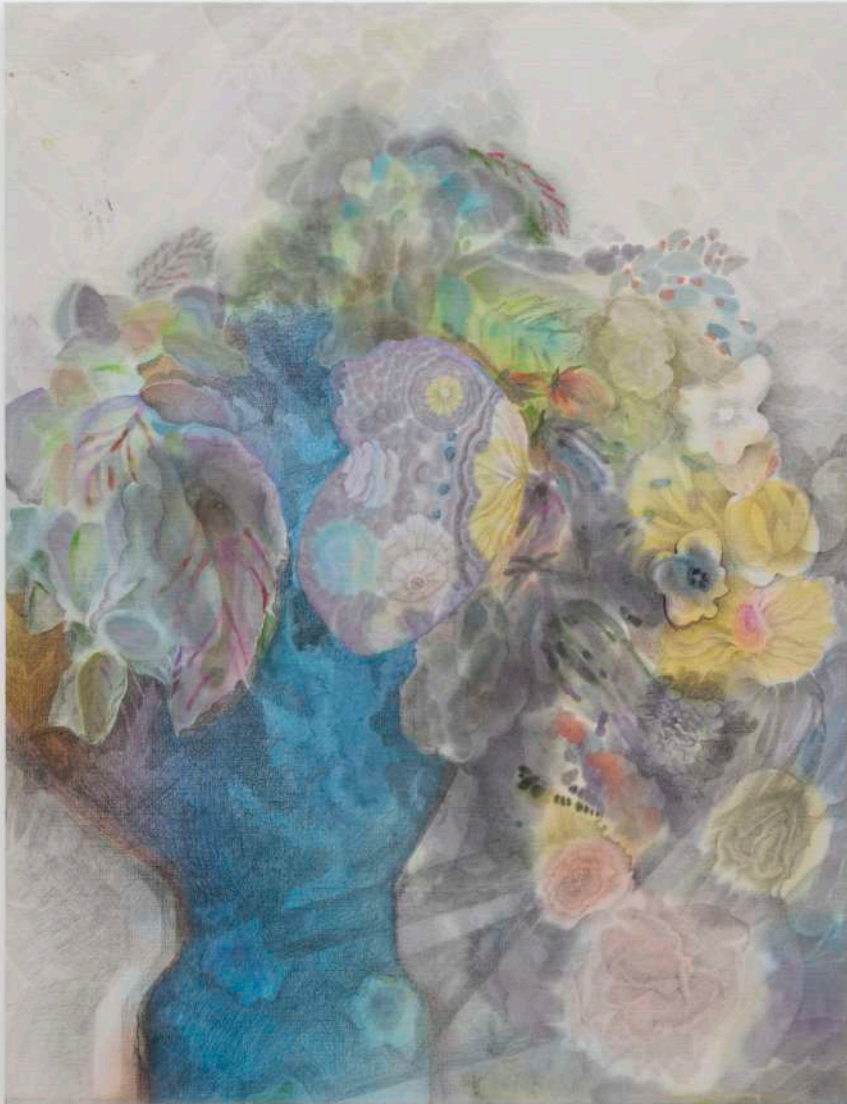
oil on canvas mounted on panel

70.0 x 51.0 cm

YuS-Pa-26-05



TOMIO
KOYAMA
GALLERY



染谷悠子 Yuko Someya

顔色の悪い人 (トゥルパ) *The One Looking Pale (Tulpa)*

2022

Chinese ink, watercolor, pencil, lithograph ink, Japanese paper
on canvas mounted on wood panel

68.5 x 52.5 cm

YuS-Pa-22-07





染谷悠子 Yuko Someya

星山 *Hoshi-yama*

2026

oil on canvas mounted on panel

32.0 x 56.3 cm

YuS-Pa-26-13





染谷悠子 Yuko Someya

犯人 *The Culprit*

2026

oil on canvas mounted on panel

32.2 x 56.0 cm

YuS-Pa-26-14



TOMIO
KOYAMA
GALLERY



染谷悠子 Yuko Someya

投げ草 *Grasscycling*

2026

oil on canvas mounted on panel

22.0 x 36.0 cm

YuS-Pa-26-06



TOMIO
KOYAMA
GALLERY



染谷悠子 Yuko Someya

美星町 *Bisei-cho*

2026

oil on canvas mounted on panel

22.0 x 36.0 cm

YuS-Pa-26-07





染谷悠子 Yuko Someya

投げ草 *Grasscycling*

2026

oil on canvas mounted on panel

22.0 x 36.0 cm

YuS-Pa-26-08



TOMIO
KOYAMA
GALLERY



染谷悠子 Yuko Someya

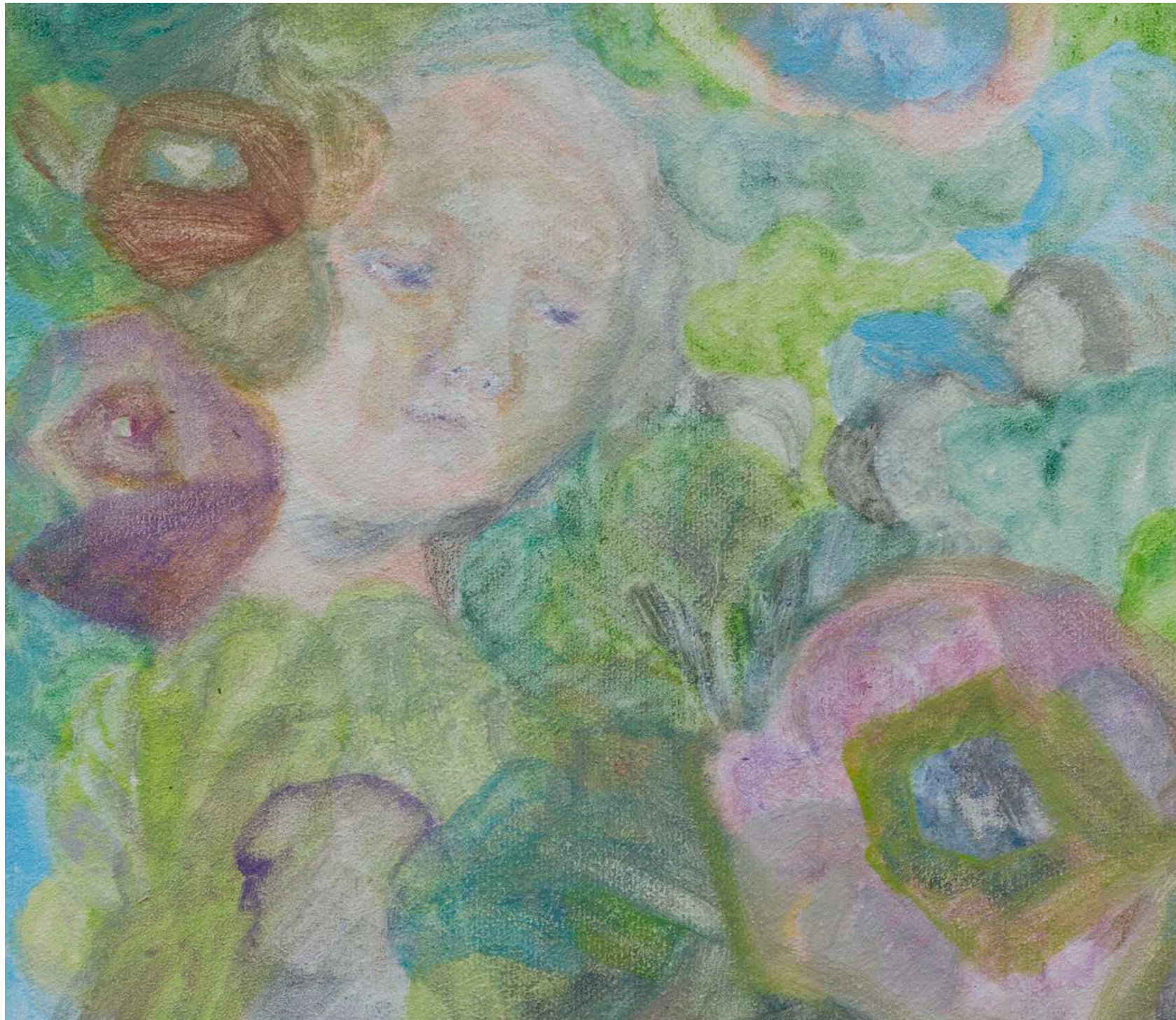
ひとやすみ *A Short Rest*

2026

oil on canvas mounted on panel

36.0 x 22.0 cm

YuS-Pa-26-09



染谷悠子
 Yuko Someya

		「Flower of Life 生命の花」 ヴァンジ彫刻庭園美術館、静岡
		「ヒットパレードⅢ」養清堂画廊、東京
2021		「花と鳥」 小山登美夫ギャラリー、東京
		「Coexist - 共存 -」 galleryfixa、奈良、岡山
		「カオスモス6 沈黙の春に」 佐倉市立美術館、千葉
2020		「大黒屋コレクション展」 板室温泉大黒屋、栃木
		「ヒットパレードⅡ」 養清堂画廊、東京
2018		「花花萬物」 A+SPACE、杭州、中国
		「ヒットパレード」 養清堂画廊、東京
2016		「生きとし生けるもの 展」 ヴァンジ彫刻庭園美術館、静岡
		「ドロ잉展」 小山登美夫ギャラリー、東京
		「JAPAN 7」 SILVERLENS、マニラ、フィリピン
2014		「現代美術の展望 VOCA 展 2014 –新しい平面の作家たち–」 上野の森美術館、東京
		「PIOON プロジェクト」 ヴァンジ彫刻庭園美術館、静岡
		「CSP2 –手法の触感–」 桑沢デザイン研究所 1 階、東京
2013		「flowers80.1」 TRAUMARIS SPACE、恵比寿 NADiff apart、東京
		「植物と蝶 ちいさな祈り」 クレマチスの丘 日本料理 tessens、静岡
2008		Richard Heller Gallery、サンタモニカ、アメリカ
2007		「Contemporary Prints from Tokyo」 Highpoint Center For Printmaking、ミネアポリス、アメリカ
2005		O gallery、東京
パブリックコレクション		
		ベルナール・ビュフェ美術館、静岡
		町田市立国際版画美術館、東京
受賞歴		
2004		「第 29 回 全国大学版画展」 収蔵賞／観客賞（町田市立国際版画美術館、東京）
2014		「現代美術の展望 VOCA 展 2014 –新しい平面の作家たち–」 佳作賞受賞
装画		
		木内昇『きみがなきあと』講談社、2026 年
		彩瀬まる『みちゆくひと』講談社、2025 年
個展		
2026		「土や星や」 小山登美夫ギャラリー京橋、東京
2024		「野花の中にあなたを見る」 小山登美夫ギャラリー天王洲、東京
2017		「花のひらく音を聴く」 8/ ART GALLERY/ Tomio Koyama Gallery、東京
2014		Richard Heller Gallery、サンタモニカ、アメリカ
2013		8/ ART GALLERY/ Tomio Koyama Gallery、東京
2010		小山登美夫ギャラリー 京都、京都
2010		小山登美夫ギャラリー、東京
		板室温泉大黒屋、栃木
2006		「鳥の虹つくり」 ギャラリー覚、東京
グループ展		
2026		「未知なる存在」 小山登美夫ギャラリー六本木、東京
2025		「美作三湯 芸術温度」 池田屋 河鹿園、奥津、岡山
2024		「森の芸術祭 晴れの国・岡山」 作州民芸館、津山、岡山
		「第 9 回 東山魁夷記念 日経日本画大賞」 上野の森美術館、東京
2022		「When I get old」 私立大室美術館、三重
		「お盆ナイト」 ZaisyohouseKoide（小出在所）、愛知